



東北学院大学 法科大学院  
法務研究科法実務専攻

[▶ サイトマップ](#)[▶ お問い合わせ・資料請求](#)

「地域に密着した  
身近な法律家の養成」を  
めざして



## 東日本大震災 災害対策情報

2011/05/09

### ご報告・御礼(その3)

東北学院大学大学院法務研究科(法科大学院)は、5月9日(月)から新学期をスタートさせました。

去る3月11日(金)に発生したマグニチュード9の大地震、そしてそれに続く大津波と余震による東北・関東地方の被害はまさに未曾有のものであり、本法科大学院も甚大な被害を受けました。しかし、これまでもご報告して参りましたとおり、本法科大学院は各方面からありがたいご支援を頂戴し、例年よりおおよそ1ヶ月遅れとなりましたが、新入生を迎えるとともに、在学生、修了生である研修生、そしてスタッフ一同が一丸となって新学期を迎えることができました。ご支援くださった皆様には、あらためまして深く感謝申し上げます。

本法科大学院は、東北という地方に根ざした、地域に貢献できる法曹を育てるという理念に基づき、これまで以上にその使命を全うすべく前進して参ります。今後とも、皆様方には叱咤激励とともに、ご支援を頂きたく、お願い申し上げます。

法務研究科長 梅津昭彦

法実務専攻主任 大窪誠

2011/04/15

### 御礼ならびに現況のご報告(その2)

東日本大震災の発生から1ヶ月余りが経過し、本学法科大学院が所在する仙台市中心部ではライフラインの復旧がかなり進みました。

4月に入り、複数の法科大学院から被災学生に対する新たなご支援のお申し出があり、引き続き法科大学院協会が支援情報を整理してくださっています。ご支援くださっている法科大学院各校と法科大学院協会に重ねて御礼申し上げるとともに、以下、現状についてご報告させていただきます。

現時点で、修了生一名が明治学院大学法科大学院において、また、在学生一名が広島大学法科大学院において、それぞれ学習場所等の提供を受け、勉学に励んでおります。両法科大学院に対して、心より御礼申し上げます。

本学法科大学院の主な機能が置かれている法科大学院・総合研究棟では、4月のはじめの段階で、ある程度の整理・片づけ作業が終わり、二つの講義室での学習が可能になりました。さらに、中央図書館には法科大学院生(修了生を含む)専用の臨時自習室が用意され、学生・修了生の学習スペースがある程度確保されるところとなりました。専用のキャレルが設置された本来の学習スペースである自習室は、4月のはじめの段階で、学習場所としては利用できないものの立ち入りは可能になり、施設・設備の復旧が急ピッチで進んでいる状況でした。

そのような状況のなかで、4月7日に大きな余震が発生しました。余震によって再び大きな被害を受けられた方も多数いらっしゃると思います。被害を受けられた方々に対して、心よりお見舞い申し上げます。

本学法科大学院に関しては、この余震の影響で、それまでは立ち入り可能だった自習室が、天井の照明器具の損傷等のために危険な状態になり再び立ち入り禁止になってしまいました。この余震は法科大学院・総合研究棟7～8階にある教員研究室はもちろんのこと、本学の各キャンパス内の多くの建物に甚大な被害をもたらし、現在でも教職員は再度の復旧作業に追われています。

しかし、このような状況にもかかわらず、4月26日の在学生向けガイダンスと5月6日の新入生向けオリエンテーション、ならびに、5月9日の授業開始に向けて、着々と準備が進められています。また、4月14日午後からは、専用のキャレルが設置された5つの自習室、6つの演習室および2つの集団学習室において危険な状態が除去され、まだ照明器具の不備はあるものの、以上の13室について学習場所としての利用が可能になりました。勉強会等も少しずつ実施されており、学習環境が徐々に調いつつあります。

新司法試験まで一ヶ月足らずとなりました。修了生の皆さんには、逆境を乗り越えて合格に向けてご健闘されることを切にお祈りします。くれぐれも余震に注意するとともに体調の維持・管理に十分に努めてください。新入生の皆さんには、5月6日のオリエンテーションのご案内を4月14日付けで郵送しました。オリエンテーションでお会いすることを楽しみにしています。5月9日の授業開始に向けて、各自少しずつ学習を進めてください。

今もなお余震が続いており、予断を許さない状況にあります。東北学院大学法科大学院は、地方に根ざした法科大学院としての責任を果たしていく所存でございます。

今後ともご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

法務研究科長 梅津昭彦

法実務専攻主任 大窪誠

**2011/04/14**

**東北学院大学法科大学院学生、専門職大学院研修生の皆さんへ**

4月7日(木)夜の余震で危険な状態になった法科大学院・総合研究棟4～6階において、危険物を除去する作業が完了しました。その結果、4～6階については、5階の集団学習室2を除き、下記の要領で立ち入りと利用が可能になりました。不自由な学習環境が続いていますが、復旧に尽力していますので、復旧まで今しばらくお待ちください。

- 1 4～6階の自習室、演習室、および、集団学習室(5階の集団学習室2を除く)は、学習スペースとして利用できます。利用に先立ち、自己のキャレル・私物の片付けをお願いします。
- 2 利用可能な時間帯は、当分の間、9時00分～17時00分です。
- 3 天井の照明器具は落下の恐れがあり撤去したため、4階の集団学習室1を除き、照明がありません。
- 4 工事が入りますので、その際は、ご協力をお願いします。
- 5 余震には、くれぐれも注意してください。

法務研究科長 梅津昭彦

法実務専攻主任 大窪誠

**2011/04/11**

**東北学院大学法科大学院学生、専門職大学院研修生の皆さんへ**

4月7日(木)夜に発生した地震の影響により、法科大学院・総合研究棟4～6階は、少なくとも13日(水)まで立ち入り禁止になりました。

4～6階が立ち入り可能になるまで、勉強スペースとして、講義室1と講義室2を利用してください。ただし、講義室1は、時間帯によっては、個別の勉強会で使用する可能性があります。

14日(木)以降の利用については、あらためてお知らせいたします。

法務研究科長 梅津昭彦

法実務専攻主任 大窪誠

**2011/04/08****東北学院大学法科大学院学生、専門職大学院研修生の皆さんへ**

4月7日(木)夜に発生した地震の影響により、4月8日(金)から11日(月)午前中までは、安全確認のため、法科大学院・総合研究棟の利用ができなくなりました。

11日(月)以降の利用については、あらためてお知らせいたします。

法務研究科長 梅津昭彦

法実務専攻主任 大窪誠

**2011/04/07****東北学院大学法科大学院学生、新入生の皆さんへ**

4月を迎え、皆さんには新学期のスタートにまだまだ不安をかかえておられることと思いますが、下記のとおり、平成23年度のガイダンスならびにオリエンテーション等の日程が決まりましたので、お知らせいたします。

1 在学生(平成22年度以前入学生)ガイダンス

4月26日(火)

2 新入生(平成23年度入学生)オリエンテーション(法務研究科入学式を含む)

5月6日(金)

3 平成23年度の授業等開始

5月9日(月)

上記ガイダンスおよびオリエンテーションの詳細(時間、会場、内容等)は決まり次第ご連絡いたします。

よろしくお願いいたします。

法務研究科長 梅津昭彦

法実務専攻主任 大窪誠

**2011/04/04****東北学院大学法科大学院学生、専門職大学院研修生の皆さんへ**

大震災以来、心身共に大変お疲れのことと思います。心からお見舞い申し上げます。

現在、法科大学院・総合研究棟の復旧につとめているところですが、完全復旧には今しばらく時間がかかりそうです。それでも、建物の構造上の危険、ならびに内部の落下物等の危険は回避されつつあるため、下記の要領で演習室等の利用を認めます。

1 4～6階の演習室・集団学習室

(1)利用できる時間帯:9時00分～17時00分(厳守)

(2)注意事項

\* 余震には十分に注意してください。

\* 私物を放置しないでください。

\* 照明が利用できない場所があります。

2 自習室

(1)利用方法

これまでどおり9時00分～17時00分の時間帯(厳守)に立ち入ることはできますが、自習室での学習は控えてください。立ち入りの際には余震に注意してください。

(2)お願い

時間に余裕のある方は、自己のキャレルの整理・整頓を行ってください。

法務研究科長 梅津昭彦

法実務専攻主任 大窪誠

2011/04/01

**御礼ならびにご報告**

東北関東大震災以来3週間が過ぎ、新年度である2011(平成23)年4月1日となりまして、これまでに全国の法科大学院各校ならびに法科大学院協会から頂戴いたしましたご支援にあらためて感謝申し上げますとともに、東北学院大学大学院法務研究科(法科大学院)の現状を、ここにご報告させていただきます。

大震災直後から本法科大学院の学生と教職員の安否確認を行うようつとめましたが、通信手段が思うように機能しなかったために相当の時間を要しました。4月1日現在、すべての在学生(新修了生を含む)および教職員の無事が確認されております。

本法科大学院が所在します仙台市青葉区土樋キャンパスでは、一部崩落の恐れがある建物・施設もありましたが、現在、その危険性は回避されています。ただし、その内部施設の損壊は尋常でない状態にあるものもあります。また、本法科大学院が主にその機能を置く法科大学院・総合研究棟は、外見上の損傷はみられなかったものの、その内部にある法科大学院学生ならびに研修生(修了生)が勉学のために使用している自習室(キャレル設置)、演習室、集団学習室、そして教員研究室は、一部施設の欠損と書架からの書物・雑誌等の散乱によりしばらく立ち入り禁止状態にありました。その後の建物診断と応急処置を施した後、ようやく立ち入りが許され、現状の把握に基づく整理・片付け作業を行うことができるようになりました。

本法科大学院の学生、研修生(修了生)のみならず本年度に新たに本法科大学院学生としての勉学に臨む新入生の皆さんには、不安を感じた方もおられたことと思います。現在は、本法科大学院は授業等の再開(新年度のスタート)を目指し、新年度に関する学務関係の再構築を進め、施設・設備の復旧作業に取り組むことにより、着実に前進しております。

以上、簡単ではありますが本法科大学院の現状についてご報告申し上げます。各方面からの暖かいお見舞い、激励ならびにご支援に重ねて御礼申し上げますとともに、今後とも、地域に根ざした法科大学院としての社会的使命を果たすために、前進していきます。

法務研究科長 梅津昭彦

法実務専攻主任 大窪誠

2011/03/28

**御礼と新年度に向けて**

3月11日(金)に発生した大地震による甚大な被害を被って以来、東北学院大学大学院法務研究科(法科大学院)は、復旧を目指して日々奮闘しておりますが、その力には限界があり環境整備が進まない部分が多々あります。そのような中で、全国の大学法科大学院から誠にありがたい支援のお申し出を頂戴しております。学生の勉強スペース確保のために、直接にその支援を申し出て頂いている大学、そして法科大学院協会がその取りまとめにご尽力頂き激励とともに多くのご連絡を頂戴しております。本来であれば、それぞれの大学名を掲げなければならないところですが、法科大学院協会ならびに全国の法科大学院各校に対しましてここに厚く御礼申し上げますとともに、復旧に向けて努力いたしますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

現在、本法科大学院は、その施設の復旧と4月以降(新年度)の学務計画の策定にその精力を傾けつつ、新司法試験受験生のサポートに取り組んでおります。また、新入生に対する情報提供と新たな生活をスタートさせるために何が必要かを検討しております。本法科大学院の学生・修了生、そして新入生の皆さんには、このような状況にあっても自己の目標に向かって着実に歩みを進める強い心をもって今しばらく本法科大学院からの呼びかけをお待ちください。

私たち以外にも、未だライフラインさえ確保できず、また将来に対する不安をかかえている方々が多数いらっしゃいます。東北学院大学法科大学院としては、そのような方々の痛みに共感しながらも、法科大学院としての機能を早く取り戻すことが第一であると考え、新年度に向け一刻も早い復旧を目指します。短いものではありませんが、取り急ぎの御礼と新年度に向けた決意とさせていただきます。

法務研究科長 梅津昭彦  
法実務専攻主任 大窪誠

2011/03/22

**東北学院大学法科大学院学生、専門職大学院研修生、入学を予定している皆さんへ**

3月11日(金)に発生した大地震、大津波の被害を受け、心身ともに疲弊している学生・研修生、入学を予定している皆さんには、心からお見舞い申し上げます。また、ご家族や親しい方々も被災し心を痛めていることと思います。東北学院大学法科大学院も、その施設・機能に甚大な被害を受け、現在その運営が滞っています。皆さんには、こちらからの情報発信が遅れ、自己の法科大学院生活に大きな不安を与えていることについて、心からお詫び申し上げます。全学的なHPやTKCのお知らせ欄で若干の情報を発信しておりましたが、今後は、あらゆる手段を講じて適時の情報提供に努めますので、よろしくお願いします。

また、全国の法科大学院、法科大学院協会等、多くの皆さんから、心温まるお見舞いを頂戴していることに対しましても、この場を借りまして御礼申し上げます。

授業・講義等の始まりは、5月以降になりますが、新司法試験の受験予定の方を含め学生・研修生、入学を予定している皆さんには、今後できる限りのサポートを行うつもりでありますので、心を強く持って、今しばらくお待ちください。

このような状況ではありますが、東北学院大学法科大学院は、苦境・逆境を何とか乗り越え、前進していきます。学生・研修生、そして入学を予定している皆さん、がんばりましょう。

法務研究科長 梅津昭彦  
法実務専攻主任 大窪誠

**本内容に関するお問い合わせ先**

**東北学院大学大学院課**

〒980-8511仙台市青葉区土樋1-3-1

TEL 022-264-6380 FAX 022-264-6505 E-mailは[こちら](#)

Page up